

小笠原諸島世界自然遺産登録 5 周年を機とした小笠原村の取組

1. 国内の世界自然遺産地域との連携

6月26日開催の5周年記念イベントにおいて、「世界自然遺産地域ネットワーク協議会」の立ち上げを宣言。

今後、国内4つの世界自然遺産の関係町村（8町村）が連携し、次の活動に取り組んでいく。

- (1) 日本の世界自然遺産地域の価値と魅力を発信
- (2) 世界自然遺産地域の社会的な環境保全活動の推進
- (3) 世界自然遺産を活かした地域振興の検討



2. 村民への価値と取組の必要性の発信強化

兄島視察会

小笠原の自然の価値に対する村民の理解を深めてもらい、世界自然遺産の課題を共有し、地域と連携した保全の取組を進めるため、対策の現場を体感するプログラムを提供。（平成25年度から継続）



兄島視察会の様子

村民ボランティアによる外来種駆除作業

実際に外来種駆除作業に参加することでより深く価値や取組への理解を深める機会を提供。（平成13年度から継続）

小笠原の価値を再確認する村民向けセミナー、フォーラムの開催。（島内向け5周年事業として7月以降継続的に実施）



南島での外来種駆除ボランティア